

### ♪後継者住まず寂しい調査票♪

2月1日は、例年のとおり農業政策の資料として貴重な存在を示す農業基本調査が行なわれる月である。本年の調査票で特に気のついたところは、農業世帯についての項目である。この中に後継者のことがある。その農家世帯に同居している後継予定者（16才以上の男または女）をいつている。ところで最近の農村の過疎現象下において同居の後継者はということになると非常に少なくなってしまうように思われて、この調査票の後継者の項目から現在の農村の置かれているさまざまな問題点が推察されるようで、農業対策の資料として大いに期待されそうで興味深いものがある。

### ♪作付の端数はうつつかり捨てられる♪

農業調査で思うことだが、作付面積などの調査になると米とか麦のように大きい作付面積は抵抗なく記載されるが、自家消費の野菜の作付は、いづれもその面積が少ないためややもすれば記入されないような場合を調査票個々にみることが多い。ネギとか菜葉類や細々としたものは面積の推定が面倒であるため得てして記載されないため、調査票によつてはそういった販売目的以外のものが全然ないような結果になる恐れがありそうで、調査にたづさわる人は充分にご注意のほど。

### ♪鶏と豚も仲よく調査され♪

やはりこういった調査では、養鶏業とか養豚業と業的の規模のある農家からは申告されるが作付面積の時と同じように極く僅かの飼養頭羽数のものは案外に関心が薄いため記入されない場合があるようにも思われる。農業基本調査は、2月1日現在の農家の実態を詳しく調査して、農業対策等の基礎とするものであるから例え僅かの作付や飼育している家畜、使用している農機具等は洩れなく記入してもらつて正しい統計が作成されることを願いたい。

### ♪春の雪人間の無策さを笑う♪

今年の冬は、最初は暖冬がつづき梅の花もずいぶん早く開花し、春近しと喜ばせてくれたものだが、どうでしょう2月から3月の気候は、例年になく雪が多く、しかも何れも大雪となつて交通機関がストップされるや、停電はするやらテンヤ、ワンヤの大騒ぎとなつてしまつたようである。月の世界に人間が、到着しようという時代、文化万能の時代にあつても自然の働きは人間様では

どうにもならないような事態を起すことが多いようである。現代の都市のラッシュなどから考えて大きな天災でもあれば思いがけぬ事態が生ずるのではないかと心配されるような春の雪のイタズラである。

### ♪平和な空引裂く射爆場がある♪

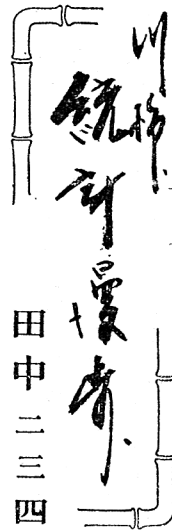
ジェット機特有の耳をツンザクような爆音が、キーンと大空いつばいに響かせて本県の上空をかすめる。太平洋に抱かれた平和な、この郷土をわがもの顔に飛翔する舞台としての水戸射爆場の存在は、大東亜戦争の遺物とはいえ、戦後23年も経つた現在でも大きな爪跡として残っているのだ。近くに原子力研究所がある。度重なる誤爆はいつどこでどのような悲惨な状態を現出するとも限らないように思う。県民挙げて射爆場撤去運動を展開しているが、こんな危険な存在は本当に1日も早く無くして平和な郷土となることを祈るや切である。

### ♪お出かけの注意は交通事故のこと♪

交通戦争下の交通事故多発は、グングンと記録を更新し、オリンピックならば日の丸確実といつたところ。本県の3月12日現在の交通事故件数は、2,111件となつて1日平均にすると29件余となるほどの増加ぶり。すでに死んだ人は110人で、1日平均1.5人の尊い人命を失うことになり、負傷者は2,775人で1日平均39人となる。このように数字が生々しい悲惨な交通事故を物語っている。こうしている間にも、どこかで救急車のケタタましいサイレンの音が突走しつづけているかもしれない。それ故に外出する夫や子供に対しては朝の出かけのことはば「自動車に気をつけてね」といつたようなことになる。

### ♪人呑んだ河口いつものようである♪

利根川の河口で、続いて漁船の沈没事故が起つた。自然とは誠にきびしいものである。船を見送つた家族の人達が、いまは現実となつたこの悲しさをどのように噛みしめているのだろうか。人がくらししていくことのできませんが、この荒波に出漁するといつたことになるのだろうか。なぜ海の荒れているのに出漁しなければならぬのだという現実、無謀運航などという前になぜしなければならないかたかを考えてみる必要があるのではないだろうか。こんな過ちを二度と繰り返さないような速やかな漁港整備対策を考え1日も早く安全な河口の出現を望みたいものである。



(40)